

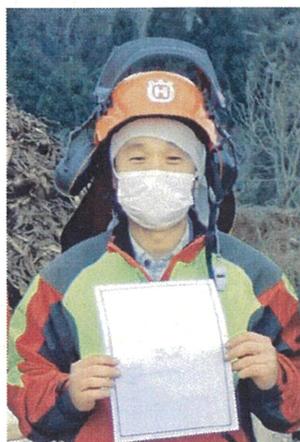
# とやま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

富山県西部森林組合 (南砺市) 森林従業員

伊藤 正実さん

今回ご紹介する方は、富山県西部森林組合の森林従業員として森林整備の現場で活躍されている伊藤正実さんです。



伊藤 正実さん

## 1 現在の業務内容

森林の伐採・搬出作業が主体ですが、保育作業にも携わっております。好きな作業は、間伐等の後仕上げに行われる枝打ちで、林内がきれいになったのが一目瞭然にわかり、達成感が最も味わえるからとのこと。

## 2 富山県西部森林組合に勤務するきっかけ

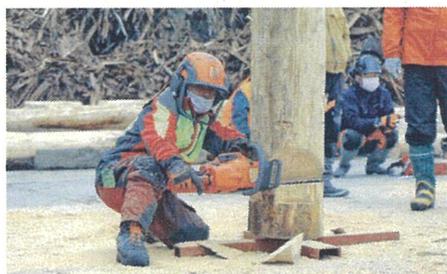
大学で林学を学び、その後、長野県の林産会社にお務めでしたが、山の現場で仕事がしたくなり、勤め先を探る中、学生時代の知人に草刈十字軍関係者がいたご縁で、富山県内で体験林業に参加。平成9年に砺波森林組合(現富山県西部森林組合)に勤められ、今に至るそうです。

## 3 チェーンソー基礎トレーニング競技会で優勝

この競技会は、チェーンソー作業の基礎動作と安全な取扱いを身につけることを目指して去る3月17日に同森林組合主催で開催されました。競技は、①安全装備チェック②目立て計測③輪切り④伐倒の4項目について行われ、輪切り・伐倒では厚さの差や守るべき角度・つる幅・方向についての差・ズレが問われ、正確さと共に、危険行ないかが採点対象です。

伊藤さんは①安全装備チェックから③輪切りまで一位、④伐倒で二位と高成績で、見事優勝。

「体格に恵まれていてるわけでもないし(作業が)特別速くもない」と謙遜されますが、その安全で確かな仕事ぶりは群を抜いていると組合内からも定評があります。



伐倒競技

## 4 技術の習得と安全作業について

ベテランから手取り足取り教えてもらう期間は長くはなかった。見様見真似で人に頼らず自分一人でやらざるを得ない状況の中、うまくいかないところを修正する練習を重ねるうちに、的確な技術が身についたとのこと。

二十年以上のキャリアを重ねても、伐倒作業は未だに怖い作業の一つ。安全作業の秘訣をお訊ねすると、道具の状態を最善にする等、準備をしっかりと行うことのほか、ケガ防止のため暑くても防具をきちんと装着するなど基本的なことを守ることが大切とのことでした。また、面倒がらずに安全講習会に積極的に参加することで、ベテランとなった現在でも、理論づけと自信を高める努力を重ねられています。

## 5 今後の抱負について

一つの作業を極めていくことよりは、広く浅く色々なことを習得されてきたそうです。今後も今の信念の下、どこでも、誰とでも多種多様な作業ができるようになることが目標だそうです。とてもソフトなお人柄で、幅広い作業がこなせ、若い担い手への指導も重要な仕事の一つと期待されている伊藤さんです。今後ますますのご活躍を祈念いたします。  
文責 砺波農林振興センター森林整備課林政・普及班